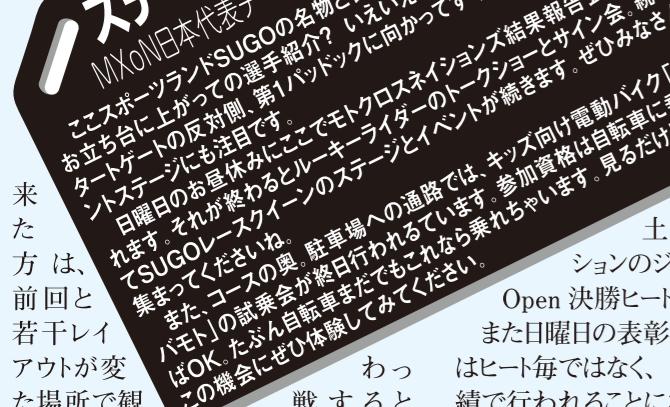


INFORMATION & OTHERS

**最終戦は来シーズンの始まり
好きなライダーを見つけてね！**

ダイナミックなハイスピードノットルとテクニカルなセクション両方が堪能できるSUGOのコース。大坂の斜面やビッグジャンプ横の観戦ポイントが人気ですが、他にも見所はたくさんあります。公式プログラムにはわかりやすいイラストで紹介があるので、ぜひ参考してくださいね。

5月の第3
戦を見
に



来た方、前回と若干レイアウトが変った場所で観戦すると、ライダーの適応力の高さがわかるかも。だれか一人に注目して見続けると、ライン取りの違いや、ライダー毎の乗り方やスタイルなんかもわかるようになります。

全日本の観戦は去年のマディレス以来という方、今シーズン1番の変更点は土曜日のレースフォーマットです。まずIA1の予選がレース形式ではなくタイムアタックになりました。特に今回はファイナルアタックという初の試みが実施されます。お手元のスマートフォンで「CHECKCLAP」というサイトに接続すればタイムを見る事もできますが、せっかくのコースサイドでずっとスマートを見てくるのもねえ。レース実況のMCさんが頑張って状況を伝えてくれると思うので、そこはアタックのタイミングやライバルを意識しての再アタックの様



子なんかを楽しんで見てください。ライダーがピットインした時はそこでセッティングを変えることが多いので、次のアタックでタイムがどう変わるかも見物です。これはかなりマニアックな視点です。

そしてもう一つ。去年までは土曜日は予選日…でしたが、今

シーズンはIB Openのヒート1が土曜日の最終プログラムとして行われます。これは土曜日にも見せ場があった方がいいよ

ねってい

うアイ

ディア。

というわけで、土曜日にはエキシビ

ションのジュニアクラスとIB Open決勝ヒート1を楽しめます。

また日曜日の表彰式ですが、こちら

はヒート毎ではなく、2ヒートの総合成績で行われることになりました。なので、第1ヒートが終わるとライダーはパドックに引き上げます。そして、第2ヒートの終了後に表彰式という流れ。

お昼休みのチャイルドクロスと午後イチで決勝が行われるLMXは変わらず1ヒート制でのお見逃しなく。日曜日はIB Openヒート2と表彰式、IA2決勝ヒート1、IA1決勝ヒート1、ランチタイムを挟んでLMX、IA2決勝ヒート2と表彰式、IA1決勝ヒート2と表彰式で終了になります。

ワクワクドキドキが一杯 パドック散策のススメ

次にライダー識別の基本、ゼッケンの色について。これはクラスごとに違っていて、赤地に白文字がIA1。黒字に白がIA2、青地に白がIB、白地に黒がLMX、以下ジュニアクラス

はIA1と同じ赤地に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となっています。マシンのカラーはホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑。KTMがオレンジでハスクバーナが白。IA1クラスの山本選手がただ一人使用するゴールド地のゼッケンは、ランキングトップの証です。

ここまで読んで????となってしまった方、入場の際にもらった公式プログラムを見てください。コース上を走るライダーのゼッケンとマシンの色、プログラムのエントリーリストを見比べると、徐々にどれが誰だか分かるようになってくるハズ。外見でライダーの区別ができるようになれば、凸凹県出身のXX選手は△色のマシンでゼッケンは□色の○番…と逆引きもできて、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

とはいえ、ず~っとレースを見続けていたらさすがに疲れちゃいますよね。もちろんお昼休みもあるんですけどお目当てのライダーがないときは、イベントブースやパドック巡りをぜひ楽しんでください。走行前のライダーとトイレでばっかりとか、走り終えたライダーをパドックに訪ねてポスターにサインをもらうとか、レース以外にも楽しみはいっぱいあります。

また、メーカー毎にサイン会やトークショウなど様々なイベントや展示を用意してくれています。並べられたマシンは跨がってみるとOK。レース用のマシンに触れる機会なんてそうそうないと思うので、ぜひライダー気分を味わってみてください。

日曜日のお昼休み時間には、国別対抗戦 MXON 日本代表チームの報告会他のイベントが予定されています。ついでに第1パドックの外周に陣取るヘルメットやタイヤメーカーのブースも訪ねてみてくださいね。カタログはもちろんポスターなどを配布していることも少なくありません。もちろんスタッフさんに性能や価格などを問い合わせるのもあり。忙しい時間でなければ必ず対応してもらいます。ちなみにメーカー毎に配布している応援用の旗は、2枚重ねて縫い合わせると、かわいい巾着袋が作れると近頃評判です。

バイク好き、メカ好きな方は、各ワークチームにスタンバイするファクトリーマシンにも注目。いずれも先行開発車両で、全日本でしか見ることができないスペシャルマシンの数々です。今大会は海外招待選手のスペシャルマシンにも要注目です。

今すぐ知りたい。MXの表も裏もレポートします。



全日本モトクロスのインサイドレポートを、リアルタイムで手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」です

が、今年もやっています。シーズン料金は3000円なんですが、今回は特別に無料モニターを受け付けます。現地情報からレース後の裏話まで、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスを提供中です。来シーズンに向けてのスタートブリーグなんかもどうぞお楽しみに。

編集後記

この号の締め切り間際に来週末東京お台場での開催が予定されていた「2018 ジャパンスーパーコロス」が中止になったというニュースが飛び込んできました。

実はボクも一時期スタッフの一人として関わっていて、21年ぶりのビッグイベントをなんとか実現して欲しかったんですが、本当に残念!! 観戦チケットを買ってたり、出場予定だったというライダーも少なくないと思うんです。なんか本当に寂しいですけど、来面向かって、ここからまた元気出して行きましょうね!!

MXING & MC Square 木田 淑



安全性能の追求!

株式会社アライヘルメット
〒330-0841埼玉県さいたま市大宮区東町2-12
TEL(048)641-3825
http://www.arai.co.jp/



モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878



PREVIEW-Sports Land SUGO

チームメイト同士で熾烈なタイトル争いを繰り広げる新旧王者、#1 山本 鯨と#982 成田 亮。僅差で迎えたファイナルラウンド、チャンピオンの栄冠を勝ち取るのは果たして!? Photo/K.Kida

第56回MFJ-GPモトクロス大会 MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第9戦(最終戦)は、10月27~28日に宮城県柴田郡村田町のスポーツランドSUGOインターナショナルモトクロスコースで開催される。ついに迎えたクライマックス。最高峰IA1クラスでは新チャンピオン山本 鯨と史上最多勝記録を更新し続けながら自身12回目のタイトルに向け力走する成田 亮が、IA2は能塙智寛と古賀太基がタイトル争いの激しい火花を散らす。栄光と感動の瞬間を見逃すな!!

モトクロス観戦を楽しむポイント

- 一、好きなライダーを一人見つけておく。
- 二、横一線、ド迫力のスタートを見逃すな!!
- 三、コースサイドから大声で応援しよう!!

合優勝に輝いた浅井亮太 (#40 / ヤマハ)。その背後には僅差で安原さや (#5 / ヤマハ) が迫っており、一発勝負のLMXも目が離せない戦いになりそう。

竹内、久保まな (#2 / スズキ)、本田七海 (#3 / ヤマハ) も貪欲に勝利を狙っている。煙尾が勝って栄冠を掴み取るか、最後まで予断を許さぬ攻防に期待したい。

すでに岸桐我 (#84 / ホンダ) のタトゥーはまっているが、昇格をかけた国際B級クラスやジュニア、チャイルドクラスも要注目。応援という形で観客がレースに参加出来るのがモトクロス観戦の醍醐味。大きな声援を送りながら、心ゆくまでレースを楽しんで欲しい。

2018全日本モトクロス選手権シリーズスケジュール

第1戦	九州大会	4月7~8日	熊本県/HSR九州
第2戦	関東大会	4月21~22日	埼玉県/オフロードヴィレッジ
第3戦	SUGO大会	5月12~13日	宮城県/スポーツランドSUGO
第4戦	中国大会	5月26~27日	広島県/グリーンパーク弘楽園
第5戦	九州大会	6月9~10日	熊本県/HSR九州
第6戦	東北大会	7月21~22日	岩手県/藤沢スポーツランド
第7戦	中国大会	中止	豪雨災害のため
第8戦	近畿大会	9月8~9日	奈良県/名阪スポーツランド
第9戦	MFJ GP	10月27~28日	宮城県/スポーツランドSUGO

全日本モトクロス選手権 第9戦 MFJ-GP 開催おめでとうござります。



携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果(決勝スタートタイミンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。